



20.JUL.2023 月20日号

- ■発行所/(株)びゅ~すまいる編集舗・みまもりプレス編集部
- ■2023年7月20日発行号 TEL.03-6807-8287 ■発行者·編集人/八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

イマジカインフォス

認知症への関心の高まり受け注目度も上昇

書籍『60歳の現在地』書店ランキング1位へ

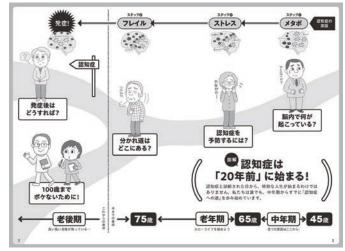
イマジカインフォス(東京都千代田 区)では、同社が2023年4月13日 (木) に発売した書籍『60歳の現在地 20年後の認知症はもう始まっている』 が、発売直後に『三省堂書店名古屋本 店』の実用ランキングで「1位」を獲得 したことを発表した。

認知症患者は、2025年に「700万人」、 して出版した一冊。 2030年には「800万人」を超え、2050人 には、65歳以上の4人に1人が認知症に なると言われるなか、2023年6月14日、 認知症の予防等を推進し、認知症の患 者やその家族を尊重し支援することを 目的とした「認知症基本法」が、参議院 本会議で全会一致で可決し、成立した。 なので、発症する 20年前からすでに進 同法は、「認知症施策」の策定を国の責

務として定め、地方 自治体にも認知症施 策推進計画の策定を 努力義務とした。

同書は、こうした 現状背景に危機感を 抱いた著者が、「一 日約50人 | という 多数の認知症の臨床 経験から「人生100 年時代における認知 症対策 の集大成と

本書の著者・渡辺正樹氏は、今までに 約1万人(一日約50人) の認知症患者を 診察してきた認知症の名医で、長年、 動脈硬化や自律神経失調症を専門とし て診療にあたってきた神経内科医。「認 知症(アルツハイマー病) は生活習慣病 行が始まっている病気でもあります



▲「何よりも発症させないこと、原因を作らないための予防が重要」と本書は説く

シニアが元気になると 日本が元気になる!

元気シニア倶楽部 会昌墓集中!!

-入会費・年会費なし---

tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



薄さわずか 1.2cm 『ころやわマット』が登場

必要な時だけ持ち運んで使えるからスタッフ職員の負担も軽減 — Magic Shields —

Magic Shields(静岡県浜松市)で は、高齢者の転倒骨折リスクを低減 する床『ころやわ』にラインナップを 追加。医療・福祉施設のベッドサイド で、必要な時だけ持ち運んで使える 「歩ける衝撃吸収マット『ころやわ マット』」の受注販売を開始する。 (2023年8月1日より)

『ころやわ』は2020年の発売以来、 「560施設」を超える医療・福祉施設 で導入実績をもつ。今回発売される 『ころやわマット』は、医師・看護師・ 介護士やリハビリ専門職から高い評

価を受けた『ころやわ』の「歩行安定 性」はそのままに、同社の特許技術 を用いられた「可変剛性構造体」を搭 載。「1.2cm」の薄さで緩衝マットと

しては国内トップクラス の衝撃吸収力を実現した という。

『ころやわマット』は薄 型化により職員の持ち運 び負担を軽減するととも に、スロープ角度も従来 品の「1/12勾配」から 1/24勾配へと改善。「手足

の力が弱い方や、片手や片足で車い すを操作する方、歩行器をご利用の 方も、スロープを昇降しやすくなり ました---(同社談)」



https://www.magicshields.co.jp/coroyawa/

ボタンを押すだけでカンタンコール

家庭介護用ナースコール みまもりボタン『キテネ』――アンカードシステムズ――

介護用IoTシステムを開発するアンカ ードシステムズ(札幌市)では、2023年 7月26日、27日に開催される介護用品 の展示会『CareTEX札幌』に出展。同時 にECサイトを開設し本格販売を開始す

> 同社が手がけるのは開発者自 らの介護体験から開発されたと いう、家庭介護用ナースコール みまもりボタン『キテネ』。スマ ホ操作が苦手な高齢の家族もグ ループLINEに参加することで 簡単に意志を伝えることができ

るというもの。操作はボタンを押すだ け。3種類の押し方があり、例えば「カ チッ | と1回押しなら「トイレに行きた い」。「カチカチッ」と2回押しなら「お 腹が減った」。「グッ」と1回長押しなら 「具合が悪いです」など、押し方ごとに 違うメッセージを割り当てることがで

レンタルと買取の2通りの入手方法が ある。詳細は同社公式サイトを参照。



https://anchored.systems/



情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会(東京都新宿区)のご協力をいただき「情熱の発明品」 をご紹介。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピッ クアップします! 掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第73回 柔らかいパンもキレイに切れる、食パンストッカー 『高級食パンが簡単に切れ PAN だ!』

柔らかい食パンも薄くまっすぐ切れる ガイド付き保存ケース





パンが大好きな木村紀子

まってからは、いろんな さん。パンが大好きで、毎 級食パンのブームが始 のように食べています。 た。

べ比べを楽しんでいまし

みましたが、柔らかくてど 度も薄く切ることを試して 作ってあげたいと思い、何 のランチにサンドイッチを そんなある日、お子さん

のです。 レイに切ることができない 崩れてしまい、切断面もキ 押さえながら切ると、形が

たくさんの方が同じ

日

々、厚く切ってハニー

名店の食パンを買って、

ーストにしたりして、

うしても薄くまっすぐ切れ

ません。柔らかい食パンを

ころ、 きな友人にも聞いてみたと この悩みを食パンが大好

袋が透けて見える、

戦し、完成したのが、本発 ストッカーのアイデアに挑 がわかり、食パンをキレ ような思いをしていること に切ることができる食パン

です。また、食パンを切断 り、組み立てると、2斤サ ができるラインが引かれて は、それぞれ、10.8.6 するまな板に相当する扉に の箱体になる点がポイント き成型をして作られてお シートを素材に、 いる点もポイントです。 イズがぴったり入る大きさ ・4枚サイズに切ること 本体は、柔らか 打ち抜がい樹脂

できる仕組みです。 わせて切断すると、 せ、本体端部のガイドに合 希望の厚さのラインに合わ るときは、食パンの端部を がぶれることなく、 れば準備完了。カットをす ン!本体を組み立てて、 ンを購入時の袋のまま入れ パンを入れると、有名店 使い方はとてもカンタ 切断 カ ット

<mark>無料プレゼント!</mark> 発明ガイドブック

「発明ライフ·入門」(希望者は下記まで)

〈この商品のお問い合わせは〉

社団法人 発明学会 発明アドバイザー松野MP係まで

東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル © 03 (5366) 8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp

との高評価に、木村さんも として考えてみてもい 行ったところ、「ノベルティ が半透明であるのもポイン 手ごたえを感じているよ 発明品です。(松野泰明 今後の展開が楽しみ パン屋さんに営業に

こなら「元気シニアビジネスアドバゲー!!!

ブレーンモンジュ・林野 均の「シニア、萬、遊記」第70回

「認知症新薬」の現在

このコラムでも何度か触れた、エーザイのアルツハイマー新薬「レカネマブ」が7月6日、米食品医薬品局(FDA)から正式認証されました。認知症の原因物質の除去を狙った薬が正式認証されるのは世界で始めてで、認知症の薬としても20年ぶりとなります。この薬は日本の厚生労働省にも承認申請されており、近く結果がでる見込みだそうです。

さらにエーザイは、点滴薬に加えて、自宅で患者が注射できる薬剤を新たに開発し、まず2023年度中に米国で承認申請を目指すそうです。点滴薬は2週に1度通院して点滴を受ける必要があるため、本人や家族にとっては大きな負担です。注射薬が実用化すれば医療機関を訪れる必要はなく、投与にかかる時間も1分以下に抑え

られ、本人や家族にとっての負担はかなり軽減されそうです。ただ、薬価の部分ではそれほどの軽減にはならないかも知れません。

年間約380万円の価格をおさえることができないと、仮に日本で医療保険を使えたとしても、実際の使用にはなかなか結びつかないと思われます。国の負担が増えれば健康保険料や税金の増額に結びつき、一般の人々の理解を得るのも難しくなるかもしれません。

とは言いながら、認知症の問題は時間との戦いでもあります。去年1年間の認知症の行方不明者はおよそ1万8,700人で2年連続の増加、この10年間でほぼ倍増しているようです。このうち男性は1万314人、女性は8,395人。年代別では60代が938人、70代が6,968人、80代以上が1万672人

でした。77.5%が届出を受理した当日に、99.6%が受理から1週間以内に所在が確認されてはいるようですが、それでも警察等の負担は少なからずあります。

エーザイの「レカネマブ」の 認証を受けて、他の製薬会社も 認知症薬の開発に力を入れてい るようです。複数の薬が登場す れば患者の選択肢も広がり、価 格が下がる可能性があります。 自分が認知症にならないように 注意しながら、状況を見続けて いきたいと思います。



◎画像はイメージです。

Author/林野 均(はやしのひとし)

プランニング・ブレーン・モンジュ代表/一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』 資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。 https://planningbrain.com





